



左上から右に 蔵元居酒屋 清龍本店、料理、
自社酒 下段は埼玉県蓮田市の酒造場

○本社所在地：東京都豊島区東池袋4-24-10

○事業概要：飲食店の運営と日本酒・焼酎・酒類の製造販売

○常時使用する従業員：330名
（グループ全体・2026年4月時点）

○現在の売上高：28億円
（グループ全体・2026年1月期）

○法人番号：3013302005547

○Web： <https://seiryu-syuzou.co.jp>

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
岩崎尚

酒は美味しく楽しく。清龍は、
お客様の安らぎと楽しさを追求し続けます。

清龍の創業は1858年です。埼玉県蓮田市で清酒を醸造する酒蔵として創業し、先代の頃に私の兄が酒造部門である清龍酒造株式会社を事業承継し、蔵元居酒屋運営部門である当社を私が事業承継しました。事業理念に基づいた運営を続けてきた中で、令和7年2月に酒造部門も、私が事業承継し現在に至ります。これからの十年は、酒造部門で生じている日本酒の需要変化、材料高騰、設備老朽化、人手不足等に対応し、生産性を向上させて海外販路も視野に入れた日本酒の展開や、国内居酒屋出店ペースを加速させてまいります。スタッフもお客様も安らぎと楽しさを享受でき、次世代が安心して承継できる、持続的成長可能な経営体制に変革してまいります。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2036年度のグループ売上高100億円達成に向け、年率14%程度の成長を目指します。また、経営地盤の整備を進めて、次世代の育成と承継を進めます。それにより、定量面では100億円達成以降も持続的な成長が見込めます。定性面では清酒造りという日本を代表する醸造技術を伝承していくことが可能となり、最終的には地域を代表する文化として、地域活性化に寄与していくことを目標として掲げます。

課題

- ・酒造部門の生産性、収益性の向上。
- ・酒造部門、居酒屋運営部門の出人不足の解消
- ・日本酒の売上拡大（販路拡大）
- ・蔵元居酒屋の売上拡大（既存店の営業強化）
- ・次世代への事業承継と日本酒造りの製法の伝承
- ・海外（東南アジア圏）へ日本酒・居酒屋文化の輸出・伝承

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ・酒造場の再構築…生産設備と生産工場に投資して、自社酒造部門の生産性、収益性向上すべく、省力化を進めます。ICTを活用し製法を標準化して、勘と経験に依存しない高品質で安定した生産体制を構築し、人材確保を容易にします。そしてEC販売や酒蔵見学を復活させて、売上拡大を見込みます。更に、自社飲食店でのお客様ニーズの収集を基に、料理に合う新しい酒の開発を継続的に進めます。
- ・宣伝酒場の開発…市場ニーズに即した良質で安定供給可能な酒生産体制を背景に、東京都内で居酒屋の出店を加速させます。酒造場見学のタッチポイントとして機能する自社酒の「宣伝酒場」のロールモデルを作り、自社の海外進出への足掛かりを作ります。

実施体制

- ・酒造部門のスタッフの増強を新規採用及び、居酒屋運営部門スタッフのジョブローテーション制度を構築し、新商品開発力の強化と組織活性化を進めます。
- ・新設備により製法の標準化を行い、酒造マニュアルを作成します。
- ・販路拡大の為に営業部門を構築します。
- ・酒蔵見学プログラム実施に向けた人材の再募集を行います。
- ・ビール会社・不動産業者との連携を強化し、新規出店に向けた物件取得の強化を図ります。
- ・新店舗開発においては取引金融機関と連携を強化し、資金面の拡充を図ります。

※本宣言は企業自身がその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです

売上高100億円実現の手順とグループ体制

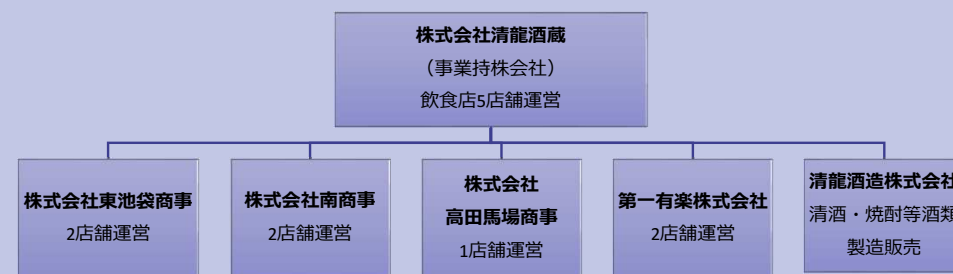
11年後に売上高100億円達成のための手順は

- ①酒造場の集約と省力化投資で生産性、収益性向上を図り、清龍グループの経営基盤を整備します。
- ②事業承継時に休止した「酒造場直売所」「酒蔵見学コースと直売飲食店」「EC販売」を再開し体験型酒蔵を復活させます。
- ③酒蔵見学へ送客でき、清龍の日本酒をもっと知りたくなる様な宣伝酒場業態の開発を行います。
- ④宣伝酒場業態の拡大を行い、飲食店売上と日本酒売上の両立を図り雇用創出も実現します。
- ⑤営業体制を整えて他の外食企業社への酒卸と、海外進出（酒や店舗をベトナムやタイに向けて）を行います。
- ⑥事業合理化の為に2015年を最後に、開催を見送っている「新酒まつり」を復活させて、地域の賑わいを創出し、地域の皆様への感謝と恩返しを致します。

清龍酒蔵グループは、現在は事業持株会社の株式会社清龍酒蔵のもと、5社の子会社と連携して「飲食サービス業」と「酒類製造販売業」と「不動産管理業」を営んでいます。そのうち、清龍酒蔵は池袋、神田、吉祥寺、上野で合計5店舗の飲食店の運営と、自社保有不動産の賃貸管理を行っています。東池袋商事は池袋と上野で合計2店舗の飲食店運営を行っています。株式会社南商事は池袋で2店舗の飲食店運営を行っています。株式会社高田馬場商事は高田馬場で1店舗の飲食店運営を行っています。第一有楽株式会社は有楽町で合計2店舗の飲食店運営を行っています。清龍酒造株式会社は令和7年2月に事業承継し、グループ傘下に入りましたが、創業事業である清酒と焼酎等の酒類の製造・販売を行っています。



清龍酒蔵グループ体制



○法人番号：9013302008321（株式会社東池袋商事）、6013302009702（株式会社南商事）、8013302005864（株式会社高田馬場商事）
7010001021459（第一有楽株式会社）、3030001018424（清龍酒造株式会社）